



1

かみ しん すく あと せいちょう かんが
神を信じて救われた後、クリスマンとして成長していくことを考えたことがあ
りますか？ あなたは成長したいですか？

洗礼をゴールに考えている人がいるかもしれませんが洗礼からスタートです。生
まれたばかりの赤子としてどんどん成長していくことを目指しましょう。成長し
ていくことが大変で面倒なことではなく、喜びであり願いであるように伝えま
しょう。

2

よ せいちょう ひつよう しゅうかん
P71 ~ 81 まで読んで、クリスマンとして成長するために必要な7つの習慣で、
じぶん いちばんむずか かん なん
自分が一番難しく感じるものは何ですか？

それぞれ得手不得手があるかもしれませんが祈ってバランスよく成長するように
願いましょう。

3

しゅうかんが かんが
どうしたら習慣化できるか考えてみましょう。

意識すること、祈ること、兄弟姉妹と支え合い励まし合うこと、分かち合いも有
効です。

復習タイム

- ◆ 聖書は神の「言葉」です。「毎日」読みましょう。分からないところを飛ばして、ひとまず聖書を「通して」読んでみましょう。「辞書」などで学ぶことも良いですが、「自分」にどのように語っておられるか、思い巡らすことが大事です。(参照：P71～72)
- ◆ 祈りは神と人間の「交流」です。まず「天のお父様」と呼びかけ、神をほめたたえ、神からの恵みに「感謝」し、「罪」を悔い改めたり、「願い」を言ったり、他者の為の「とりなし」をしたりして、最後に「主イエス・キリストのお名前によって祈ります」と結びます。聖霊によって祈り、「異言」でも祈りましょう。(参照：P73～75)
- ◆ 礼拝はクリスチャンが集まって神を「賛美」し、「御言葉」をいただき、祈り、献金する大事な時です。休まず、「遅刻」しないで行きましょう。「祈禱会」など諸集会にもできるだけ出席しましょう。(参照：P75～76)
- ◆ 奉仕は教会を形成し自分の信仰を「成長」させます。教会はあなたの奉仕を「必要」としています。それは「義務」や強いられるものでなく、「喜び」をいただくものです。(参照：P76～77)
- ◆ クリスチャン同士の交わりはお互いを成長させます。互いに「励まし」合い、「徳」を高め、救われたこと、「日常」の恵みや感謝を語り合しましょう。(参照：P77～78)
- ◆ 誰かに伝道することはキリストから与えられた「使命」です。「教会」に誘ったり、自分の救いの「証」や、主イエスの「十字架」を語っていきましょう。(参照：P78～79)
- ◆ 私たちは誰かの献金によって救われました。「救い」の為に、教会の維持運営のために、感謝と喜びを持って捧げましょう。「十分の一」献金、「席上」献金、「感謝」献金、「特別」献金、「指定」献金などがあります。(参照：P79～80)

いの お祈り

天の神様、7つの習慣を身につけて私の信仰を成長させてください。御名によって祈ります。アーメン。



実践編 (じっせんへん)

テキスト P82~93

きょうかいせいいかつ しんこうせいいかつ なに こま お わ ほくし
教会生活、信仰生活で何か困ったことが起こったり、分からないことがあったら、牧師
に聞きよく相談しましょう。また良い信仰の先輩や同じような経験をした方の証を聞く
のも良いことです。そして自分でも祈り、教会でも祈ってもらいましょう。

1

あなたには教会生活を送っている中で問題が生じたとき、相談したり、祈ってく
れる人がいますか？

自分と同じ時期に洗礼を受けた人や、良い信仰の先輩、そして牧師と、何かあつた場合相談出来、祈ってもらえる人を作りましょう。この学びを一緒にしている人も、これから祈り合える繋がりになれると思います。

2

P82 ~ 93 まで読んで初めて知ったり、心に残ったことはどんなことでしたか？

自分と同じ時期に洗礼を受けた人や、良い信仰の先輩、そして牧師と、何かあつた場合相談出来、祈ってもらえる人を作りましょう。この学びを一緒にしている人も、これから祈り合える繋がりになれると思います。

3

かんれん あたら わ きもん すこ たす なに
関連して新しく湧いた疑問や、もう少し尋ねてみたいことが何かありますか？

小さなことでも疑問に思うことや聞いてみたいことを出してみましよう。

4

ひとり しつもんしゃ ひとり こた やく わ せつめい
一人が質問者、一人が答える役になって、分かるように説明できるか、ロールプレイをしてみましよう。

ロールプレイは行ってみると自分の分かっていた点を知ることができま
す。ぜひ行ってみてください。その後、感想を聞いてみましよう。

復習タイム

- ◆ 洗礼は「**信仰**」の表明ですから受けるべきです。「**洗礼準備講座**」などで学びましょう。(参照：P82～83)
- ◆ 洗礼を家族に反対されたら理由を聞き、「**議論**」は避けて、受けたいことを穏やかに話しましょう。信教の「**自由**」が法律にあるので、洗礼は自分で決められますが、家族と悪い関係にならないように気を付けましょう。(参照：P83～84)
- ◆ 礼拝に出席できない時は牧師に知らせ、他の「**時間**」や曜日、ネットなどを利用して礼拝できるように工夫しましょう。(参照：P84～85)
- ◆ 遅刻は一つになっている参加者の礼拝への心をそらしてしまうかもしれません。しないように気を付け「**10～15**」分前には教会に着いていきましょう。また遅刻される方は事情があるかもしれないので祈りましょう。(参照：P85～86)
- ◆ 日曜日が休みでないクラブ活動や仕事を選ぶときは、それが神様の御心かどうかをまず祈りましょう。また礼拝を守る工夫をし、クリスチャンとの「**交わり**」も行えるようにしましょう。(参照：P86～87)
- ◆ 奉仕は強いだけでなく、「**喜び**」をもって行いましょう。頼まれたらやってみることも大切ですし、きちんと引き次いで止めることも可能です。教会員になったばかりの人が奉仕を行い過ぎたり、「**礼拝**」より奉仕に重点が置かれそうなら断ることも出来ます。(参照：P87～88)
- ◆ 自分にもできる奉仕は必ずあります。「**賜物**」が何か見つけていきましょう。(参照：P88～89)
- ◆ 礼拝だけでなく交わりも大切です。礼拝後少し残ったり、平日やルールを守って「**メール**」などを利用し、良い交わりを持ちましょう。(参照：P89～90)
- ◆ どうしても苦手な人が出来てしまったら、まず祈って、「**礼拝**」は工夫しても休まないようにしましょう。(参照：P90～91)
- ◆ 教会の信徒グループは交わり（お互いの成長）と「**宣教**」の為に大事な活動です。グループに属することに抵抗があるならば、その理由を見つめ、問題の解決を図りましょう。(参照：P91～92)
- ◆ 集会以外にも教会に来て良いかは教会によって違いますので牧師に気軽に聞いてみましょう。自由に來れる教会でも牧師の働きの「**妨げ**」にはならないように気を付けましょう。(参照：P92～93)

いの お祈り

天の神様、教会生活の中でいろいろな疑問や悩みが出てきても、祈って乗り越えて行けますように。助け手となってくれる先生や兄 姉がいることを感謝します。御名によってお祈りします。アーメン。

CHAPTER
2-2

きょうかいせいいかつ しんこうせいいかつ
教会生活・信仰生活



実践編 (じっせんへん)

テキスト P93~100

きょうかいせいいかつ しんこうせいいかつ なに こま お わ ほくし
教会生活、信仰生活で何か困ったことが起こったり、分からないことがあったら、牧師
に聞きよく相談しましょう。また良い信仰の先輩や同じような経験をした方の証を聞く
のも良いことです。そして自分でも祈り、教会でも祈ってもらいましょう。

1

あなたにとって献金^{けんきん}はどのようなイメージがありますか？

ある人にとって献金できることは喜びであり、豊かに惜しみなく捧げる事が出来ます。でもそれは献金の賜物がある人で、多くいるわけではありません。リーダーにこの賜物があると捧げられない人を理解できず、裁いてしまう可能性があるので注意しましょう。献金のことはナイーブです。捧げている人は高ぶりやすく、捧げられない人は委縮してしまう傾向にあります。お互いにどの位の額をしているのだろうということを知りたいけれど、聞けないジレンマがあったりします。時には献金を会費、参加費、運営・維持費、牧師の給与などと人間的に考えてしまっている人もいるかもしれません。でも献金は神への尊い捧げ物です。神への感謝の心を込めて捧げる事が一番大切なことなのです。また捧げられた献金はその中から教団を通して日本の宣教のために用いられています。一献金をはじめ、献金は大いに祝福されるものですので、良いイメージを持てるようにしましょう。

2

P93 ~ 100 まで読んで初めて知ったり、心に残ったことはどんなことでしたか？
自由に話せる雰囲気を作りましょう。

3

かんれん あたら わ ぎもん すこ たす なに
関連して新しく湧いた疑問や、もう少し尋ねてみたいことが何かありますか？
異言のことも出ているので何でも話し合しましょう。

4

ひとり しつもんしゃ ひとり こた やく わ せつめい
一人が質問者、一人が答える役になって、分かるように説明できるか、ロールプレイをしてみましょう。

語ってみることで献金について、祈りについて、より深く理解していきます。
ぜひ行ってみてください。

復習タイム

- ◆ 献金は自由で「**強制**」的なものではありませんが、教会の活動費は必要です。「**神**」に対して行っていると確信して自分で決めて行いましょう。
(参照：P93～94)
- ◆ 十分の一献金をするのが難しい時は、自分の「**経済**」が守られることを祈りましょう。そして牧師にも話して祈って戴きましょう。(参照：P94)
- ◆ 十分の一献金は額面か手取りかと考えるより、信仰により、感謝と「**恵み**」の視点で考えましょう。(参照：P94～95)
- ◆ 経済的に厳しくても、献金することは良いことですが、神が私たちの経済を見過されないと信じると共に、「**与えられているもの**」を大切に、それをどのように使うかを考えましょう。(参照：P95～96)
- ◆ なかなか祈れないと思う人は「**会話**」をするように祈りましょう。御言葉に応答したり、「**賛美**」をもって祈ったり、黙って主の前に出るだけでも祈りになっているのです。(参照：P96～97)
- ◆ 聖霊の「**バプテスマ**」は求めましょう。でも異言にこだわらず、神をたたえ、「**感謝**」し、とりなしの祈りをし、祈り込んでみましょう。そして聖霊に委ねていきましょう。(参照：P97～98)
- ◆ 経済的に厳しくてもできる限り「**借金**」はせず、どうしてもしなければならぬときは安全な所(公的機関)から借り、信徒間ではしないようにしましょう。もし行方なら「**借用書**」などを用意し、トラブルにならないようにしましょう。
(参照：P98～99)
- ◆ 教会で個人的に何かを販売するのは難しいでしょう。お金に関わることは「**慎重**」にするべきです。(参照：P100)

いの お祈り

天の神様、救われて献金のできる者となれたことを感謝します。喜びもって捧げ、喜びもって祈れますように。どうぞ私たちを豊かにしてください。御名によってお祈りします。アーメン。

CHAPTER
3

れんあい けっこん
恋愛・結婚



実践編 (じっせんへん)

テキスト P102~108

れんあい けっこん どうじしゃふたり もんだい かんが けっこん かみ あ ぼくし
恋愛、結婚は当事者二人の問題と考えがちですが、神が合わせてくれたものであり、牧師
によく相談して祈っていきましょう。

1

あなたはキリスト教とそうでない結婚式に出席したことがありますか？ どんな違いと感想を持っていますか？

キリスト教の場合は神の前での誓約があります。天地を創造された偉大なお方の前に、生涯を共にすることを誓うのですから、ただ好きになって一緒になることを超え、厳かで重要な時であったと思います。また、普通結婚式は親族のみで、友人知人は披露宴からが多いかもしれませんが、キリスト教の場合は基本的に結婚式も身内でなくても出席することができます。出席者はただ参加しているだけではなく、2人が結婚を誓約したことの証人になっています。厳粛な誓約と牧師の本当の愛についてのショートメッセージを聞いて、キリスト教でない結婚式に比べ感動したというコメントがあったら幸いです。

2

これから結婚する人や結婚するこどもや孫をもっている人は、キリスト教で結婚式を挙げたいと強く願いますか？

これはぜひ強く願って戴きたいことです。神の前で誓約したことは、後に夫婦間でトラブルが生まれたとしても乗り越えていく力にきっとなります。またこの結婚は神が祝福してくれてはじめられたことも支えになるでしょう。また夫婦間の問題だとしても自分たちの問題ではなく、多くの人たちの祈りと支えがあったことも思い出せます。二人共か、あるいは片方の人が信仰を持っていない場合でも、キリスト教で式を挙げることを勧めましょう。多くの教会は結婚講座があります。そのときに福音が語られ、神のアガペーの愛を通して本当の愛がどのようなものかを知ることができます。結婚前の柔らかな心の時に、神の愛を知ることによって救われる人もいるでしょう。救いに至らなくてもキリスト教の素晴らしさを感じるのではないのでしょうか。

3

なぜ離婚になるのだと思いますか？

離婚の背景には聖書の言う「罪」があります。罪は破綻をもたらしますし、お互い傷を残します。

4

離婚しない秘訣、幸せな結婚をする秘訣は何だと思いますか？

離婚しない秘訣は自分の人生に離婚という選択肢はないと決めることです。そして幸せな結婚をする秘訣は二人で見つめ合って生きるのではなく、同じものを二人で見つめて生きるのです。お互いをずっと見ていると悪いものも見えはじめ、失望したり苛立ったりしてきます。そうではなく同じものを見ていくことが良いのです。でも見つめるものは何でも良いわけではありません。趣味や仕事、こどもを見ても良くないときは一緒に気持ちが落ちてしまいます。そうではなく、神を見るのです。二人で神を見て生きるならば、たとえどちらかが倒れてももう一人が信仰によって引き上げられます。たとえどちらかが悲しんでいてももう一人が神の愛で覆えます。互いに祈り合え、祈りを聞くことで相手の本当のやさしさを知ることができます。幸せな結婚となる秘訣は神を信じることなのです。

復習タイム

- ◆ 好きな人が出来たら早めに牧師に相談し、「**良い本**」を紹介してもらって二人で読み、正しい交際をしましょう。デートで「**金銭**」的な負担をかけないようにし、帰りも遅くならないようにしましょう。(参照：P102～103)
- ◆ 未信者の人と交際していたら、キリストを信じるように伝道し、礼拝に出席してもらって、牧師とも会って親しくなってもらいましょう。信仰の一致は「**生き方**」の一致です。(参照：P103)
- ◆ 結婚を決めたら相手が未信者でもキリスト教で式を挙げ、牧師が「**司式**」をするように求めましょう。式までの流れを牧師から教わり、「**結婚講座**」を受けましょう。結婚式で神の前に「**誓約**」をすることはとても重要なことです。結婚後のことも牧師と話し合ひましょう。(参照：P104～105)
- ◆ 結婚式についてですが、式は神への誓約が中心で大きな違いはありません。でも「**披露宴**」は有無や規模の大きさ、場所、費用など個人差があります。「**両親**」の意向も含め、二人でよく話し合って決めましょう。教会に「**慶弔規定**」があるかを確認し、結婚感謝献金や、司式者、奏楽者などへのお礼も考えておきましょう。(参照：P106～107)
- ◆ 離婚は良くないですが、事情によってさまざまな判断がなされる問題です。何度でも時間をかけて牧師や信仰の先輩に相談し、祈りましょう。多くの「**リスク**」が伴うので軽く考えてはならないことです。(参照：P107～108)
- ◆ 離婚は「**罪**」です。でもキリストの赦しがあります。真摯に祈り、悔い改め、相手に誠意を尽くす者でありましょう。(参照：P108)

いの お祈り

天の神様、結婚式において神の前で誓約できることを感謝します。神が合わせてくださったと確信を持って、それぞれの家族が祝福されますように。主の御名によって祈ります。アーメン。



1

あなたの^{かてい}家庭はクリスマンホームですか？クリスマンホームになることを^{ねが}願いますか？

簡単な質問のように思われるかもしれませんが、ある人々にとっては答えにくい質問です。「クリスマンホームですか？」と聞かれて「そうです」と答えたいのですが、「果たして我が家は本当にクリスマンホームと言えるのだろうか？」という思いを持つ人が必ずいます。「洗礼は受けただけで教会には行っていない」「礼拝には行っているけれど、家庭ではとてもクリスマンとは言えない態度だ」そんな思いから「クリスマンホームです」と言いにくくなっている人もいます。「洗礼を受けているならクリスマンホームですよ」「イエス様を信じているならクリスマンホームです」と励ましますが、さらに深い問題が潜んでいることもあるので個別に話しを聞いてみましょう。また「クリスマンホームになることを願いますか？」という単純な質問に対しても、「この家族が救われるはずがない」「この人(家族)など救われる価値などない」と、この質問で問題が浮上することもあります。虐待を受けていたり、家族からの愛を受け取れていない場合、このような感情が湧いてきますので、答える言葉だけではなく、声のトーンや顔の表情、目の位置、全体の雰囲気から、何の問題もなく「はい、もちろんです」と言っているかを確認しましょう。

2

あなたはどんなクリスマンホームを^{きず}築きたいですか？

築きたいと願えるようにしましょう。健全な(機能している)クリスマンホームを築くように願うことはとても重要です。

3

P110～116 まで^よ読んで、自分が今、^{じぶん}一番力を^{いま}注ぎたいものは何でしたか？その^{ため}為に^{くたいてき}具体的に^{おこな}行おうと思ったことがありますか？

家族関係の修復、見直し、家庭での祈り(ディポーション)、信仰継承、家族の教会での在り方、子育て、未信者の家族の救い、クリスマンとしての家庭での在り方など、本音が出せる雰囲気にししましょう。そのための具体的な行動をみんなで考えてもらうのも良いかもしれません。

4

家庭^{かてい}について質問や^{しつもん}悩み^{なや}があったら、(言える^い範囲^{はんい}で)お話し^{はな}ください。

言葉に出せるだけでも孤立を避けられます。一つ一つの問題を真摯に聞き、丁寧に受け止めてたとえ解決策が思いつかなくても、全能者にあずけてみんなで祈っていく雰囲気を作りましょう

復習タイム

- ◆ クリスマンホームはクリスマン夫婦ふうふでできますが、その家庭かていにいつもキリストがおられるということです。「**家庭礼拝**」やディボーション、祈りいのを家庭で行い、こどもが与えられたら「**クリスマン**」になるよう育てましょう。家族かぞくそろって教会きょうかいの「**礼拝**」ささを捧げることは素晴らしいことです。
(参照：P110～111)
- ◆ クリスマン夫婦ふうふであっても意見いけんが合わないことはありますが、伴侶はんりよの意見いけん、伴侶そのものを「**尊重**」する姿勢しせいをいつも大事だいじにしましょう。
(参照：P111～112)
- ◆ 聖書せいしょ的な子育てとは、神を「**愛**」する子こに育てることです。その為ために夫婦ふうふが「**神**」を愛し、「**互い**」に愛合あいあっていることをこどもに見せましょう。教会学校きょうかいがっこうなどでも他の大人ほかのおとなから教えられことが大事だいじであり、こどもがやがて「**自らの意思**」で礼拝れいはいに出席しゅっせきし自立じりつした信仰者しんこうしゃになるよう育てましょう。
(参照：P112～113)
- ◆ 献児式けんじしきとは、子この心身しんしんの健康けんこうと霊的れいてき「**祝福**」を祈いのっていただき、親おやが神かみから託たくされた子ことして育てていく「**決意**」あらかしきを表す式しきです。(参照：P113～114)
- ◆ こどもが礼拝中れいはいちゅうしゅ静じやうかに出来できなくても「**愛**」をもって対たい応おうしましょう。こどもは大切な「**求道**」しゆ者かみ、神かみのこどもです。こどもに対してビジョンたいをもっていきましょう。(参照：P114～115)
- ◆ 家族かぞくの救すくいは、神かみのみこころですので、救すくわれることを信しんじて祈いのり、愛あいをもって接せつし、「**伝道**」せんどうしましょう。(参照：P115～116)

いの お祈り

天てんの神様かみさま、神様かみさまがまだ信仰しんこうを持っていない私わたしたちの家族かぞくを救すくってください、素晴らしいクリスマンホームを築きずけますようお願いねがい致します。御名みなによって祈いのります。アーメン。



1

あなたは職場で、どの位、神様のことを思い出しますか？

教会や家で祈る時には神様を感じても、仕事をしている時はそれに集中しているので思い出すことはない、という人は多いかもしれませんがとても勿体ないことです。神様は私たちが一番力を必要とし、失敗が赦されないようなところに働いてくださり、上手くいかなくてどうにもならない時に希望を与えてくださいます。家に帰って一日を振り返ってから仕事の時のことを思い出して祈る方もいるかもしれませんが、仕事の休み時間、また、何かをしている真っ最中でも「神様！助けて！」「イエス様、感謝！」など、短くて良いので叫んでみてはいかがでしょうか。職場で働いているときも主がそばに居てくださっていることを感じられたらこれほど心強いことはありません。

2

あなたがクリスマンであることを、職場のどの程度の人々が知っていますか？

職場で自分がクリスマンであることを証すると、利用されたり、甘く見られたり、勧誘されないかと警戒されたり、マイナス面を想像して、なかなかクリスマンであると言えない人もいるかもしれません。また自分があまり仕事ができないので証にならないから話せない、という人もいるでしょう。クリスマンであると告白したら清廉潔白でなくてはならないので窮屈になる、という人ももしかしたらいるかもしれません。でも私たちは世の光として存在しています。たとえ職場では伝道してはいけないという決まりがあったとしても自分がイエス・キリストを信じているクリスマンだということは職場の全員が知っているようにしましょう。入社の時や、新人歓迎会の時などの自己紹介の時に「自分はクリスマンです」あるいは「自分はクリスマンになりました」と大胆に告白しましょう。またそのために祈り、そして祈ってもらって聖霊に満たされ勇気を戴きましょう。この告白を通して、だれかが自分のところに来て救われますようにと祈りましょう。

3

あなたは職場で証しや伝道ができますか？言葉で言えないけれども何かで信仰を表していることがありますか？

職場では宗教の勧誘禁止、というところがほとんどです。デスクの上に御言葉入りの文房具を置いたり、クリスマンと分かるTシャツを着たり、車にステッカーを張ったり、ラインのスタンプをクリスマン用に使ってみたりして工夫しましょう。

4

仕事について質問や悩みがあったら、(言える範囲で)お話してください。

(リーダーの方へ... 職場での信仰の告白は強要しないように注意しましょう。実際に職場に心ない上司や同僚がいる場合がありますし、サタン的な考えの人がいることもあります。告白後に働きにくくなり仕事を辞めてしまうようなことになってはいけません。本人の信仰の強さによって状況がどうであっても変わってきます。不安を感じている場合はまず祈り、聖霊に満たされ、きちんとした確信をもって前に進めますよう励ましましょう)

復習タイム

- ◆ **仕事を選ぶときは、出来るなら「日曜礼拝」が守れ、「神」が与えて下さったと確信でき、それによって主のために働いている実感があるものを祈って選びましょう。** (参照：P118～119)
- ◆ **転勤がある場合は、牧師とよく相談し転勤先で出席する教会を決めましょう。「教会籍」や「十分の一献金」をどうするかも相談しましょう。** (参照：P119)
- ◆ **仕事で礼拝に出席できない場合はどこかで礼拝の時を持ち、「礼拝説教」は聞くように心がけましょう。** (参照：P119～120)
- ◆ **職場で神棚参拝や地鎮祭などを行わなければならない時は、他の方のなさることを「否定」しないで、『私はクリスチャンなので自分なりの祈り方でさせていただきたい』と言えるといいかもしれません。偶像礼拝をしないでいられるよう、神の守りを祈りましょう。** (参照：P120～121)
- ◆ **仕事上お酒を勧められたら、「丁寧」に断り、お酒によらない楽しい付き合いをしていくことが大切です。** (参照：P121)
- ◆ **職場の人間関係が上手いかなくても、「愛する」ことを実践し、その方の救いと「祝福」を祈りましょう。うわさ話、「陰口」、悪口などの仲間には入らず、聞いても「同調」しないようにしましょう。** (参照：P121～122)

いの お祈り

天の神様、神様が職場の中の色々な事柄の内にも働いて下さることを感謝します。世の中に流されないで、クリスチャンとして、良い影響を与えられますように。アーメン。

CHAPTER
6

そうぎ はか
葬儀・墓



実践編 (じっせんへん)

テキスト P124~128

1

あなたはキリスト教の葬儀きょう そうぎ しゅっせきに出席したことがありますか？ どんなことが心に残りましたか？

キリスト教の葬儀に関しては「(お経でないので)言葉が分かりやすい」「明るい」「再会の希望がある」という感想を持つ人が多いようです。いろいろな感想があるかもしれませんが「自分も大切な人達も必ず死ぬということ」と「死んだ後、どうなるのか、どこへ行くのか」考えられたら幸いです。キリスト教の葬儀に参列して、教会に行くようになった人もいることを伝えましょう。

2

あなたは仏教の葬儀ぶつぎょう そうぎ さんれつに参列した時、クリスマンとしてどのように臨んだら良いか知っていましたか？ 分からないことがありますか？

分からないことがないように、この時間によく学びましょう。

3

あなたは遺言状ゆいごんじょうを書いて、同じものを家族かぞくと牧師ぼくしに渡してありますか？

特に家族が未信者の場合は作成しておきましょう。口約束をしていたとしても、文章になったものがある方が確かです。なるべ元気なうちに書いておきましょう。(体が弱っている時に遺言状を書くとき気が沈んでしまうからです)

4

葬儀そうぎや墓はかについて質問しつもんや問題もんだいがあったら、(言える範囲いはんいで)お話はなしてください。

家族が未信者でどうしても仏式の葬儀になってしまう、という人にはその後でもいいので故人を偲ぶ会を教会で行わせてほしい、その時、家族も参列して戴けないかと伝えてみるのも良いでしょう。先祖のお墓に入ることにしている人には、分骨して教会の納骨堂にも入るよう勧めてもみましょう。

復習タイム

- ◆ 仏教の葬儀に参列する時は、「**焼香**」をせず、焼香台の所で、ご遺族の慰めを天地創造の神に祈りましょう。葬儀ではできる限り「**手伝い**」をするのが良いでしょう。(参照：P124～125)
- ◆ クリスマンになって檀家を止めたい場合は寺に、墓を処分する場合は「**石屋**」に相談し、手続きをしましょう。キリスト教の葬儀では「**寺**」の墓地に埋葬できないこともあります。前もって調べておきましょう。(参照：P125～126)
- ◆ 未信者の家族の方でも亡くなった時は、「**教会**」で葬儀をしていただけるよう、他の家族や親戚に了解を得ましょう。牧師とすぐ相談して式場や葬儀社の手配をしましょう。(参照：P126)
- ◆ キリスト教では『〇回忌』というものはなく、「**記念会**」という呼び名で自由に行うことができます。未信者の親族に配慮して記念会を行うことも大切です。(参照：P127)
- ◆ 家族が未信者の方は、自分が亡くなったらキリスト教で葬儀をし、「**司式者**」として牧師を希望することを「**遺言状**」に書き、家族と牧師に預けておくと良いでしょう。(参照：P127～128)

いの お祈り

天の神様、自分が天に召された時に、葬儀を通して証・伝道ができることを感謝します。自分が葬儀に参列する時も、正しいふるまいをしてあなたを悲しませることがありませんように…。復活の主に感謝して、御名によって祈ります。アーメン。

CHAPTER きょうかいかん
7・8 教会間のことで・その他



実践編 (じっせんへん)

テキスト P130~138

1

あなたの教会きょうかいの良いところよところはどこですか？ 他ほかの教会きょうかいに行いってみたいと思おもうことはありますか？

自分の教会の良いところをきちんと言えて、自分の教会を愛し、誇りに思っている人は幸いです。神様が選んで、体の一部として導いてくださったのですから、今繋がれている教会を大切にできるように励ましましょう。他の教会の礼拝への参加は、見てみたいと思うかもしれませんが、好奇心だけで他の教会の礼拝に行くことはしないで、控えた方がいいでしょう。行ってしまった時の自分の教会は身体の一部をなくしていることだからです。また出席した教会側も、来会された他教会の信徒の方をどう対応したら良いか困ることも考えてみましょう。今はネット配信している教会も多いので、それを見て参考にするだけに止めておきましょう。母教会に不平不満があって、教会を変えたいと思っている方もいるかもしれません。不満があるから出るのではなく、その不満がなくなるように、みんなで祈って改善していきましょう。そのために自分が遣わされていると思っただけかでしょうか。牧師に不満がある場合もあるかもしれません。牧師も人間ですので失敗や欠けもあります。でもそこを兄弟姉妹が支え補って教会が成り立っています。教会は互いに愛し合い、赦し合い支え合っています。自分も愛され、支えられ、赦されているのだということにも気づきましょう。祈って祈って本当に転出することが神の御心かどうか尋ねましょう。牧師本人ともよく話して誤解がないか確認しましょう。役員や信仰深い人に相談したり、このことに関しては他の信頼できる牧師に相談することも考えられます。ただ牧師が聖書から逸脱したことを語ったり、教会の会計を私物化したり、継続的にハラスメントがあったり、自分を神だと言い出したとしたら論外です。悔い改めがなければ離れましょう。でもそのような場合も教会から離れなければならないのは牧師の方で、自分は自分の教会に居続けるべきです。

2

他ほかの教会きょうかいのクリスマンの友人ゆうじんを持もっていますか？ 良い点よてん、あるいは気きを付つけた方ほうが良いことなど感かんじたことがありますか？

他教会の友人を持つことは良いことです。ただし、互いに愚痴の言い合いにならないように気を付けましょう。話は信仰的、建設的、肯定的であるように努め、悩みを打ち明けられ、支え励される関係であれば素晴らしいことです。何より祈り合い、お互い啓発されて、信仰が引き上げられる関係となりましょう。

3

まだ言いっていないが、牧師ぼくしに話はなしておいた方ほうが良いと思おもっていることがありますか？

この場所では言えなくても、メールでも良いから知らせ、会うか、オンラインでも良いので顔を見て何でも話せる雰囲気にしておきましょう。

4

キリスト教きりすとについてどんなことでも疑問ぎもんや質問しつもんがあったら話はなしてください。

時間があったらこのテキストを学んだ全体の感想を言い合ってみましょう。また修了式を行い、修了書を各自に渡すのも良いでしょう。パーティ形式で交わりの時を持つのはどうでしょうか。この時、次のテキストが決まっていて、各自がまた意欲をもって学びを継続したいと思っている状態になっていましたら最善です。祈って、感謝を主に表して終了しましょう。

復習タイム

- ◆ 教会を移りたいときは牧師に相談しましょう。手続きとしては「**転籍**」になります。仕事などの理由でなく、教会を転々とするのは良くはありません。(参照：P130～131)
- ◆ 他教団、他教派に移りたいときは牧師によく話をし、理解の上、転籍の手続きに入るようにすべきです。「**教派**」の違いをよく調べておきましょう。(参照：P131～132)
- ◆ 出張や旅行で他の教会の礼拝に出席したいときは、牧師に連絡し指示を受けると共に、自分の教会の特別な「**行事**」にぶつからないようにしましょう。他の教会のイベントに出席したいときも牧師とよく相談し、その教会の「**迷惑**」にならないようにしましょう。(参照：P132)
- ◆ 他の教会の信徒と交流を持ちたいときは母教会と相手の教会の牧師の「**了解**」を得ましょう。やり取りは神の前に出せるものであるべきです。クリスチャンの良い友人となりましょう。(参照：P133)
- ◆ 教会で体調が悪くなったりしたときの為に、自宅や連絡先、かかりつけの病院や大事な「**薬**」など牧師に伝えておきましょう。(参照：P134)
- ◆ 心の病があって、伝道、奉仕、交わりが難しい時は、牧師に自分の状況を説明して、「**出来る**」ところから行ったら良いでしょう。まずは病の回復を第一にしましょう。(参照：P135～136)
- ◆ 教会では「**選挙**」活動は控えましょう。(参照：P136)
- ◆ 病気になったとしても、神は見放したりしません。癒しを神に祈りましょう。休息が必要なかもしれませんが、病の中でも神の臨在を覚えたり、他の病人のとりなしの祈りをしたり、看病して下さる方々への「**感謝**」と祝福を祈りましょう。(参照：P137～138)

いのちのお祈り

天の神様、神様がこの教会に導いて下さったことを感謝します。何でも牧師先生に相談し、信仰の先輩である良い兄弟を見習い、互いに祈り合って、恵み豊かな信仰者になしてください。アーメン。